



学校便り 2月号

校長 赤尾 眞司

今年度の教育活動から

校長 赤尾 眞司

新しい年が始まって早1か月が過ぎ、もう2月です。ニュースなどを見ますと、インフルエンザが流行しています。近隣の学校からも、学級閉鎖という話が聞こえてきます。本校でも今週になって急にインフルエンザで欠席の児童が増えてきました。手洗いをする、用のない時には人混みには行かないなど十分な予防をして、風邪に負けず、この2月を乗り切りたいものです。

先月18日には、本校の研究発表会を開催しました。当日は区内外から200名を越える先生方の参加があり、おかげさまで盛会に終わることが出来ました。子供たちも普段の力を十分に発揮して、学習に取り組んでいました。他校からお見えになった先生方から、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。お手伝いいただきました保護者の皆様、ご参観くださいました地域や保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

研究発表会や学校公開でご覧になる子供の姿は、学びの場面です。本校では、児童一人一人に学習への満足感を与え、意欲を高め、知識を確実に定着させる場でありたいと考え、日々の授業に取り組んでいます。授業以外にも、学校では子供たちの健全な成長のために、様々な教育活動を実践しています。運動会や学芸会といった大きな行事もその一つです。その他にも、取り組んでいる活動をいくつか紹介します。

餅つき大会

毎年1月の第二土曜日に実施しています。この行事は、青少年育成石東小校区委員の皆様を中心に、PTAや少年野球の方々など、大勢の地域や保護者の協力で実施しています。ご家庭では体験することが少ない餅つきをすることで、お正月の伝統文化に触れること、地域や保護者の方とのふれあいから、地域を愛する心情を育てることを目標として実施しています。当日は、学年毎にうすを囲んで、全員が餅つきをしました。ついた餅は持ち帰り、おいしくいただきました。昨年度は、6年生が武石移動教室で田植えをして育てた餅米を一部使うことが出来ました。年に1度の楽しくおいしい行事です。



ランチルームを活用した給食の実施



写真は誕生給食会の様子です。本校では毎月、同じ誕生月の児童や職員が集い、誕生給食会を実施しています。一人一人の誕生を祝うこと、異学年の児童との交流を深めることをねらいとしています。誕生月の児童は招待状をもらい、普段の給食よりもちょっと豪華なメニューの誕生給食会に参加します。なかなか話すことが出来ないグループもありますが、みんな楽しく参加しています。そのほかにも、学年による交流給食があります。上学年と下学年がペアになって、2クラス一緒に給食を食べます。異学年の友達と食事を共にすることで、つながりを広めることができます。

縦割り班活動

遊びを通した異学年交流として、縦割り班活動(ふれあいタイム)を実施しています。上級生としての自覚を育てるとともに、下級生にとっては人間関係を広げることができる活動としています。

写真はふれあいあそびの様子です。中休みに、6年生が考えた遊びを縦割り班の全員で楽しみます。短い時間ですが、校庭や教室で楽しく過ごす子供たちの姿を見ることが出来ました。その他には、「長縄跳び集会」などでも一緒に活動しています。



2月7日(水)は道徳授業地区公開講座です。2校時に全学級が道徳の授業公開をします。道徳の授業も是非ご参観ください。その後11時から、不破 央 先生をお迎えして講演会を行います。4・5・6年生と一緒に、是非ご出席ください。演題は「夢を実現するチカラ」です。お待ちしております。